

膝周囲骨切り術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院: 1病日	2病日		3病日	4病日	5病日	6～12病日	13～19病日	20～21病日: 退院	【退院後の生活について】	
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～10日目	手術後11～17日目	手術後18～19日目		
達成目標	・手術後の経過について理解できる								・退院指導の内容を理解できる	下肢の負担を軽減し、起き上がり、立ち上がりを楽にするために、以下の点を参考にしてください ・寝具はベッドをお勧めします。ベッドがない場合は、布団の下に高めのマットや台を敷いて寝床を高くする ・和式トイレの場合は膝に負担がかかるため、かぶせ式の便座を使用する ・浴室では滑り止めマットや膝の高さ位の椅子を使用する ・家事は、ご家族の協力を得ながら行い、重たいものを持たないようにしてください	
			・患肢に神経麻痺の症状がない ・痛みによる苦痛がない								
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します 			・痛み止めと胃薬を1日3回、毎食後に内服します（7日間） ・吐気を予防する薬を1日3回、毎食前に内服します（7日間） 							
手術		手術 									
注射		・点滴をします 		・点滴を抜きます							
検査	・身長・体重測定 			・採血 			・採血/レントゲン（手術後7日目） 	・採血/レントゲン（手術後14日目）	・体重測定（退院日）	以下の症状がある時はご連絡ください ・頭痛 ・吐き気 ・膝の痛み、腫れ	
処置		・手術をしない方の足だけ、弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外し、弾性ストッキングを脱ぎます							
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます							
			・手術室で創部にドレーン（管）を入れます	・ドレーンを抜きます	・火曜日と金曜日に創部の消毒をします 						
		・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します								
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・飲食はできません 	医師の指示後、飲水、軽食ができます	・制限はありません 						・休診日・診療日時間外 2階東病棟 0985-85-1744	
活動・安静	・制限はありません	・病棟内で過ごしてください	・ベッド上安静です	・車椅子に移乗できますが、手術した方の足は床に着けることはできません。初めて車椅子に移乗する時は、医師又は看護師と一緒にいきます 	・活動範囲の制限はありません。ただし、医師の指示で、手術した方の足は段階的に荷重を増やします ・詳細はリハビリ計画に沿って行ってください						
清潔	・シャワー浴をしてください 	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます	・ビニール等で創部を保護し、シャワー浴ができます						
リハビリ				・リハビリテーションが始まります 							
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います								・退院後の生活について説明します ・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します（退院日） 		
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動などの術前訓練をします 	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、2階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください 							・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います（退院日）	

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。